

北海道旭川東高等学校校標品
「ミタゾバズ」

花の野分

旭川東高PTAだより 第10号

発行日：令和2年3月1日
発行：北海道旭川東高等学校 PTA
編集：PTA 広報委員会



定時制からの風

～ 定時制の9月から12月に行われた授業や行事より～

①9月18日(水)

「e-ネット安心講座」

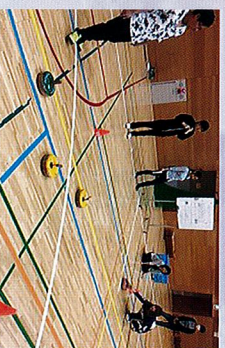
e-ネットキャリアバンによる「インターネットの安心安全な使い方」講座を実施しました。ネット依存、ネットいじめ、デジタルタトゥー等の話をわかりやすく話していただきました。



②10月3日(木)～4日(金)

「宿泊研修」

「ネイパル深川」で宿泊研修が実施されました。今年度は2年生8名の全員参加です。生徒同士が互いの新しい面を見つけることができるなど楽しく、有意義な研修となりました。1日目は旭山動物園へ。平日のせいか混雑することもなく、みんながゆつくりと楽しむことができました。深川到着後、早速研修へ。作文のテーマは「将来の夢」。真剣に書かれた中身は、みんなの夢がぎゅっしり詰まっています。この日の一番の盛り上がりは、2チームに分かれて行った「フロアカーリング」。隠れた才能を発揮した生徒もあり、驚きと爆笑に包まれました。



③10月18日(金)

「後期生徒総会」

先月の役員選挙で信任された新役員を中心に総会を運営。昨年度の活動報告、中間決算報告と今年度の活動計画が決まりました。



④10月31日(木)

「Happy Halloween」

「ハロウィンクッキーあるよ!」給食でサライス。調子の悪かった生徒も、この情報を聞きつけた瞬間、元気に食堂へ! いつも美味しい給食と温かい対応をしてくれる調理員さんに感謝。



⑤12月3日(火)

「令和元年度第2回進路講話」

「しごとラボ旭川」様のご協力で旭川市福祉保険部生活支援課、あさひかわ若者サポートステーションからも沢山の職員の皆さんにお越しいただき、手厚い体制で実施いたしました。今回のワークショップの目的は、自分のことをよく知ることを意味する「自己覚知」。



⑦12月9日(月)

「消費者教育」

札幌の北海道立消費生活センターから講師をお招きし、消費者トラブルについての講演をして頂きました。消費行動が様々な形で広がる中、生徒達には正しい知識を身に付けてほしいです。



⑧12月10日(火) 「レクリエーション大会」

今年はスポーツ部門ではバレー、バドミントンで汗を流し、文化部門ではオセロ、シェンカ、トランプ、人生ゲームを楽しみました。レクリエーション種目として最後は、すてきな賞品を目指して賞品獲得競争を行いました。スタートしてゴールまでは途中のカードに書かれてあるお題で勝敗が決まるので、みんな真剣でした。



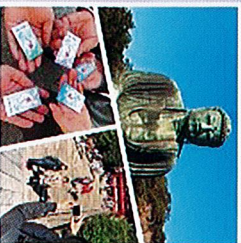
北海道旭川東高等学校定時制公式HP
<http://www.ah.hokkaido-c.ed.jp/teiji/>
下記の見学旅行において、現地よりホームページ更新を行いました。



⑨11月5日(月)

「見学旅行①」

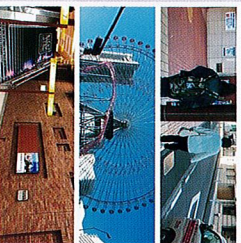
いざ鎌倉! 名カメラマン奮闘中! 旅の安全と充実を祈願して、おみくじをみんなで見引いてみる...



11月6日(火)

「見学旅行②」

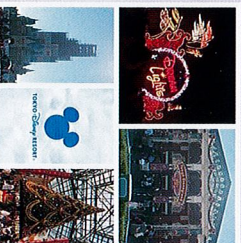
関東自主研修。何度も練り直した自主研修計画を頼りに横浜の宿を後にしました。次は東京の宿舎で集合です。



11月7日(水)

「見学旅行③」

夢の国「ディズニーランド」定時制の見学旅行らしく、夜のエレクトロニカルパレードや花火までじっくりと満喫!



11月8日(木)

「見学旅行④」

東京の観光名所を巡る旅。(国会議事堂、浅草、東京スカイツリー) 好天に恵まれたのか? は、担任が「晴れ女」だからか?





急步大会

10月1日

快晴の空の下、石狩川河川敷で急歩大会が開催されました。例年、男子16㎞、女子12㎞で行われていましたが、当日コースの脇の森が発見され、男子は急ぎよ14㎞にコースが短縮されました。コースの途中では、保護者の方々が給水所を設けていたり、子どもたちの様子を见守る観察地点に待機していただき子どもたちが安全に参加できるよつに配慮されています。役員や応援の保護者の中、生徒たちは完走を目指して力強く走り、または景色を楽しみながらゴールを目指していきました。

今年は、仮装をする生徒の他にコースのゴミを拾いながら走る生徒も見受けられました。楽しくも心が和む大会でした。



生徒会とPTAの意見交換会

9月19日



生徒会執行部とPTA本部役員とに忙しい6名の執行部の皆さんが参加してくれました。村井会長の挨拶に始まり、お互いの自己紹介の後に皆さんの意見が交わされました。中でも来年度から学校祭等行事が見直されるため執行部の皆さんが苦労している話を聞きました。改めてPTAとしてできることを考え、東高祭T.O.R.C.I.f.eや東高大懇親会の収益から、生徒会から要望のあった学校祭で使う照明器具とフオグマシーンを寄贈することになりました。

増段関れることの少ない生徒会執行部から日頃の生徒会活動の様子や様々な考えを聞くことができ、応援する気持ちを形にすることで今後も生徒会とのつながりを大切に活動していきたいと思います。

「癒しのオーガニックハーブの世界」



講師
代表 石田佳奈子様
Lien／リツン

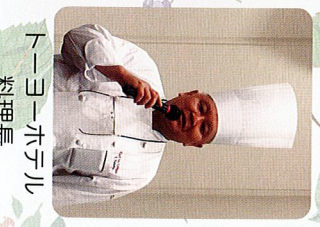
旭川トーヨーホテルを会場に開催され、66名が参加しました。今回の講座は、講師にLien／リツン代表石田佳奈子様をお迎えし、講演していただきました。講演の後にはトーヨーホテル理事長が腕を振るってくださいました。

学卒業後、アロマセラピーやハーブに興味を持たれ、日本でアロマセラピーの学校に通われていました。そして、もっと本格的に学ぶためにフランスへ留学されました。フランスの農業学校のハーブ科を卒業された後は、ハーブ農家に弟子入りされ、ハーブの生産やアロマオイルの蒸留など本場の技術を学ばれ、ブリタニー地方で自身が生産者となり活躍されていきました。2018年に旭川へリターンされてからは、畑を開墾し、たくさんの種類のハーブを栽培、アロマオイルの蒸留・販売などすべてお一人でされています。

ハーブには癒しの効果として気持ちを落ち着かせ、リフレッシュさせるなどの効果があることは皆さんが存じだと思います。でも、ハーブは精神面に働きかけることだけでなく、予防医学、体質改善の作用もあり、体と心を調和させる作用があることを知りました。講座では三種のハーブを試飲しました。写真にあるのはお湯を注ぐ前のハーブです。緑色や花の鮮やかな色が乾燥しているのに残っていることに驚き、まず口で癒されました。ハーブティーはどれも色鮮やかで香りが良いだけでなく、「集中力を上げる」「免疫力を上げる」「アンチエイジング効果がある」といった、それぞれの効果があり、種類によっては大人だけではなく、子どもにも飲ませたいーと思いました。

ハーブティーを楽しむためには、ハーブと食材のバランスを工夫されたお料理をいただきました。全七品の料理は今までに食べたことがない素敵なお料理ばかりでした。

講座の終了後はハーブの販売もありました。ハーブの美しさと香り、そしておいしいお料理で演題のとおりとても癒された時間となりました。



トーヨーホテル
料理長



令和元年度北海道PTA連合会旭川支部「生徒指導研修会」として『各種事業を活用した効果的な支援体制の構築について』旭川市内定時制4校の取組より』の講演があり市内各校の教職員、PTA役員53名の参加者が集まりました。

旭川市高等学校定時制通信制教育振興会の対象校である旭川東、旭川北、旭川工業、旭川商業の各校定時制教頭先生による事業内容の発表があり、高校生スタッフ・アット・プログラムを活用した取り組みでは、成果の検証として個々の生徒の状況把握と、きめ細かな対応により生徒のコミュニケーション能力向上や教育相談体制の充実をはかっていることを知りました。これらの取り組みにより、不登校や中途退学者の減少など効果的な支援体制がこれからも重要になってくるのだと感じました。



道高P連旭川支部
生徒指導研修会

10月23日

文化講演会
9月25日

We are ジンセキ レモンさんのビタミニトーク ～あなたの心にビタミンチャージ～

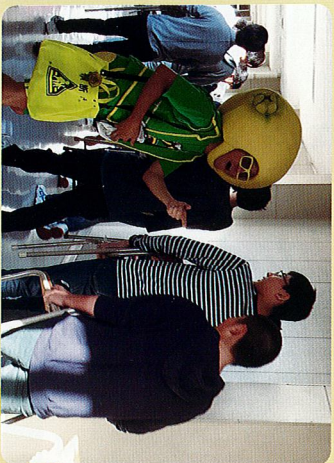


講師 山本シユウさん
(別名レモンさん)

レモンさんこと山本シユウさんをお招きしての文化講演会が本校体育館で開催されました。演題は「We are ジンセキ レモンさんのビタミントーク～あなたの心にビタミンチャージ～」関西弁の軽快なトークとユーモア、そしてレモンの大きな被り物で登場するという戯けた見た目とは裏腹に、とても真実に今の社会での生き方、指針を伝えていただきました。これから生きる子どもたちに、自分軸を持つことの重要性、自分軸を見つけるための具体的な方法、またアンガーマネジメントやメンタルの整え方など大切な情報として伝わったのではないかと思います。保護者には、今の子どもたちとの間にある考え方の違いを「昭和チツプ」が内蔵されていると面白く表現を使って説明、この世代の人が正しいと信じて貰ってきた考え方や価値観が子どもたちを困惑させていることを示唆しました。親として大人として子どものためにそのことに気づき、学ぶことを問われていると痛感しました。

レモンさんは講演終了後も廊下に立ち、教室に居る子どもたちに声をかけ最後まで見送っていました。そのおかげで、質疑応答時間に挙手しながらも当たらない子どもたちが話す機会を得ることができました。ただ、一方的に壇上から伝えるだけではなく、そういつ子もいるかわからないと待っていてくれるレモンさんの細かい配慮にも感動しました。

翌日「We are ジンセキ」「昭和チツプ」などのレモンさんの置き土産の言葉が教室で飛び交っていたそうです。子どもたちの心にも保護者の心にも熱く響いた講演会でした。



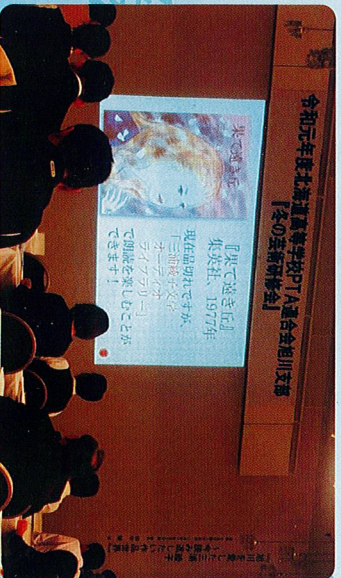
道高P連旭川支部

冬の芸術研修会

12月10日

令和元年度北海道PTA連合会旭川支部二回目の研修会は「冬の芸術研修会」として講師に北海学園大学教授であり、三浦綾子記念文学館長である、田中綾子さんを招き、「旭川を愛した三浦綾子」今讀み返したい作品世界』の講演を通して三浦綾子さんの軌跡をたどり、地元旭川の良さを再認識する会を開催しました。

各校より73名と多数の方に参加いただき、改めて作品の世界観や、すばらしい作品に触れることができ貴重な体験をしました。壇上や氷点有名な田中綾子さんの聞き心地の良い声、ちょっとしたお話を聞いていたい気持ちになりました。皆さんも機会がありましたら是非三浦綾子記念文学館に足を運んでみてください。



学年委員会の活動

1 学年

1 学年委員長
嵯城 利明



我々は「とにかく、楽しく笑顔で令和」をテーマとして一年間の活動をしました。九月二十日には第一回懇親会を開催して13名の参加をいただきました。先生たちによっていただいたスマイシヨールは保護者の知らない子どもの学校での様子や、個性的な先生たちの素顔を垣間見ることであります。第一回の懇親会は二月二十一日に開催して一学年のさらなる懇親を深め、Orientationになりましたと思っております。旭川東富校には實業副健という言葉があります。それは飾り気がなく、誠実であり、心と体が強く、たくましく様を意味しています。子どもたちおにとつてこの『實業副健であれ』といつてくかからの教えは今を生きる直接の原動力となるはずです。学校での多くの幸せな時間がこれから一歩ずつ成長して未来を担う責任を自覚していく助けになります。我々、一学年保護者は東富のサポーターとなつて共に歩んでいきます。そして、いつか子どもたちの頑張る勇姿を誇らしく見守つていきます。



2 学年

2 学年委員長
北岸 睦



一学年委員会今年度の活動目標は昨年同様、「Make H yg e (ヒヨック) ～思心地のちを求めて～」子どもたちが思心地のよい高校生活を過ごせるよう、PTAとして積極的に応援していただくの思いで決めました。

今年度の学年委員会としての活動は、一回の懇親会を開催しました。一回目の懇親会は九月十二日に開催し、保護者67名と先生方9名の計75名の参加となりました。学校内の様子や学校行事に参加している子どもたちのスマイシヨールの上映、各クラス担任の先生方のスピーチ、先生と保護者間での懇談など大盛況でした。

十月には最大行事である思学旅行も無事終了し、子どもたちも同じ仲間としての絆がさらに深まった一年であったと思います。また、六月には三学年委員会の「受験のための情報交換会」にも一学年委員が受け手伝いとして参加・見学させていただきました。いよいよ最終学年となる三年生に向けて、保護者同士が一致団結して更なる情報交換や交流を深めていきたいと考えております。

最後になりますが、保護者及び教職員の皆様におかれましては、本年もPTA活動にご賛同、ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。三学年でも引き続き、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3 学年

3 学年委員長
松本 明代



三年生の皆さん、保護者の皆様、卒業生までとございます。

三年間PTA活動

会は「集大成～三年間の思いを共に～」をお礼申し上げます。今年度の三学年委員会に目標に受験に向けた対応で活動いたしました。七月の「受験のための情報交換会」では、卒業した先輩保護者の方々のアドバイスにより、参加者からは不安が解消された、知れたことが聞けて良かったと感じていただきました。有意義な会となりました。そして、最後の懇談会となりました十一月の「総決起集会」では、校長先生や教頭先生にも参加していただきました。スマイシヨールの旗を揚げ、恒例の担任の先生方によるスピーチで鋭気を養うことができました。これから子どもたちへ、さまざまな進路がありますが、

どんな困難や試験もスマイシヨールの精神で立ち向かっています。最後に三学年の先生方、三年間支えていただきましたありがとうございました。



生活委員会の活動



生活委員長
竹林 律子

今年度の生活委員会は「学年A活動を楽しみましよう」を目標に活動して参りました。今年

度の活動としては、学校祭の仮装行列のコース管理とPTA喫茶『Tori Cafe』の運営です。

今年はカフェメニューにピーナツの菓子の焼き印が入ったどら焼きを取り入れてみました。毎年恒例の菓子の焼き印が入ったどら焼き『東どら』やサンドイッチの販売

など大変好評を得ることができました。次に東高大懇親会の運営を行いました。今年もOB・OG・保護者の皆様に多数ご参加いただき、フットボールおつまみの販売、ゲーム、抽選会などで盛り上がり

ました。これらの活動による収益金は、子どもたちに還元されるので、とても嬉しいです。

来年も『Tori Cafe』、東高大懇親会』を楽しくおもてなしができるように検討したいと思



今までご協力いただきました委員会のみなさま、本部長の皆様及び先生方ありがとうございました。



教養委員長
矢萩 恵

今年度の教養委員会は、『子どもと過ごす時間をより輝かせるためのヒント』教養講座』を目標に、二つの講座を開催しました。

第一回講座「柔道整復師に学ぶセルフメンテナンス」は、整骨院院長で東高野球部コーチ兼トレーナーの重原司さんを講師にお迎えし、野球部員にもサポーターにできるストレッチを教えていただきました。お子さんも参加できる講座としましたので、PTA会員とお子さん、合

て7名に参加いただきました。第二回講座『癒しのオーガニックハーブの世界』には、PTA会員6名に参加いただきました。本場フランスでハーブを学び、現在は旭川郊外で自然農法でハーブを育て、加工、販売まで自らで行っている石田佳奈子さんをお招きして、ハーブが心と体にもたらす効果についてお話をいただきました。その後はローヨホルルのシェフがこの日のために考えてくださった

ハーブを使った料理を味わいました。教養委員一回、講師との出会いや、新たな学びにわくわくしながら講座の準備をいたしました。教養講座が、参加いただいたみなさんの「お子さんと過ごす時間」をより輝かせるためのヒント」になれば大変うれしく思います。



母校・在校生を 応援して下さい。 ふるさと納税での学校応援



北海道教育委員会では、ふるさと納税（寄付）制度を使って、学校の教育活動を支える制度を始めました。

旭川東高校では「ICTを十分に活用できる学習環境の整備」として次の計画をしています。

- (1) W-I-F-I-回線的环境整備
- (2) プロジェクター等の整備
- (3) 4階コンピュータ室の冷暖房装置の設置

「ふるさとチョイス」を通して寄付ができます。保護者の皆さんから、内外の卒業生や知り合いの方へお知らせいただき、早期にたくさんの方に応援いただけますよう、どこかよろしくをお願いします。

※詳細は、学校HPや先に配布しましたパンフレット等をご覧ください。
(文責 事務長)



令和元年度を振り返って

PT A会長 村井 為敦

日頃よりPT A活動にご理解とご協力をありがとうございます。令和元年度も色々なことがありました。PT A会長というよりも高校生の子を持つ親として強く印象に残ったことを書きます。

来年度から大学入学共通テストで当初予定されていた英語の民間検定試験と、国語と数学の記述式問題の導入が見送られることになりました。よって文科省は大学入試改革のメイソンの柱としていたものを二つとも抜本的な見直しをする必要に迫られることになりました。結果的に、ただ子どもたちの不安を煽り、現場の先生たちを振り回しただけのことであったように思います。延期とした理由を聞けば、私でも最初から思っていたことが問題点でした。子どもたちが安心して公平な受験ができる体制を整えてほしいのです。

我々親はこれからも当然、我が子のために生きていきます。文科省も子どもたちのためによろしくお願いしたい。



編集後記

広報委員長
佐藤 誠呼人



平成から令和へと移り変わった一年、今年もPT Aでは様々な活動が行われました。東高のPT Aはとにかく『楽しい』の一言に尽きます。「大空までか」には、PT A全国的にも高い評価をいただいております。これは、広報委員の努力はもちろんですが、旭川東高校のPT A活動が各委員会の取り組みをはじめとして大変充実していることが大きな要因であると思います。今回も広報委員が、その魅力をお伝えするために奮闘した自信作です。みなさんにその魅力が少しでも多く伝わるようにと願っています。

